

西九州だより 2021

発刊に関してのご挨拶

リハビリテーション学部
同窓会 会長

島田 恭憲



本会の日々の活動におきましては、平素より深いご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

現在、西九州大学 リハビリテーション学部 同窓会の第2代会長の任を仰せつかっています島田恭憲と申します。私は西九州大学 リハビリテーション学部 理学療法学専攻 2期生で、現在は佐賀県の病院で勤務しております。

今回、本会創立後初めての広報誌を発行する運びとなり、会長のあいさつを仰せつかりました。そこで簡単ではありますが本会の歴史や活動内容などをお話しさせて頂ければと思います。本会は平成24年にリハビリテーション学部 卒業生の第1、2期生によって創立されました。創立当初は理学療法と作業療法に分れて同窓会の運営を行っていましたが、平成25年からは合同で行うこととなりました。この同窓会立ち上げは世話役を担当して頂いた同学部の先生方、本会初代会長 松本雄次、副会長 新藤浩が中心となって行われ、現在の同窓会を形作られました。そして、令和元年より会長を島田恭憲、副会長を市川誠が務めております。そして本会創立後より会員皆様の同窓会活動への日頃からのご協力のおかげで、本会は創立11周年を迎えました。現在、11期生まで卒業し創立当初に比べると卒業生の数も600名を超える状態になっています。本会は創立後より卒業生の皆様の自己研鑽、情報交換や親睦を深める場を提供できるようにと創立当初から卒後研修会や研修会後の懇親会を主な事業として行って

おりました。現在はリハビリテーション学部創立10周年記念学術大会やボウリング大会などのその他の事業も企画・開催を行っていきようになってきました。

そして、今後は本会に対して会員や在学生の方々がさらに興味を持っていただくために研修会以外での還元方法がないか模索し、新たな事業を検討している状態です。

また、昨年度企画しておりました卒後研修会やボウリング大会の事業は新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、研修会は今年度の開催を企画しております。現在も新型コロナウイルスが流行している状態であるため、会員の皆様や講師の健康と安全を第一に考慮し本会では今年度の研修会をオンラインでの開催が出来ないか検討を行っております。オンラインでの開催が出来れば、遠方のために今まで研修会の参加がなかなか困難であった会員の方に研修会に参加して頂けるのではないかと考えております。このように来年度の研修会開催に向けて毎月役員会を行い、企画を進めておりますので研修会が開催の運びとなった際は多くの会員の方々に参加して頂けると幸いです。

本会は今後も『卒業生の皆様の自己研鑽、情報交換や親睦を深める場の提供』が出来るように活動を継続して参りたいと思いますので、今後とも格段のご理解、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



リハビリテーション学部
リハビリテーション学科 学部長

小浦 誠吾

西九州大学リハビリテーション学部同窓生の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。この度の同窓会会誌の発行にあたり、一言お祝い申し上げたいと存じます。

まず、この同窓会の基礎を築いてくださった卒業生の皆様や先生方のご尽力に対しまして、心から感謝申し上げます。経営母体である学校法人永原学園西九州大学グループは、佐賀県唯一の私立大学として開学から70年を超える歴史を有しております。リハビリテーション学部は、早いもので開学部より15年目を迎えており、佐賀県唯一のリハビリテーション医療職の専門家育成の私立大学として注目され続けております。今後も高い評価を頂き続けることができますように、教員一同リハビリテーション学部ならではの特徴を磨杵作針し、更なる魅力を構築してまいりたいと考えております。

しかしながら、COVID-19の世界的なパンデミックや大水害・大型台風など、予想もできない事態がおきることもございます。その様な試練を迎えた際に大いに頼りになる存在が学部の同窓会ではないかと考えております。実際にWithコロナの2020年度においても、本学部は九州の大学で唯一4年生の臨床実習を実施できました。これもひとえに後輩の育成を大切に考えて下さっている同窓会の皆様方のご尽力の賜物だったことは間違いございません。改めまして、この度の学生に対する度重なる格別なご配慮に対して、心よりお礼申し上げます。また、WithコロナやAfterコロナの時代では、対面での



接触型の実践講義が制限され、これまで以上に卒後教育の重要性が高まることが予想されます。この点につきましても、同窓会の皆様のお力添えを頂きますと幸甚でございます。同窓生におかれましても、これまで以上に同窓会の活動に関心を持っていただき、主体的かつ積極的に参画していただけますようお願い申し上げます。

最後に、コロナ禍では同窓会組織の活動も制限される面が多々あると思いますので、役員の皆様方のご苦勞はいかばかりかと気掛かりでございます。また、同窓生の皆様方は安定した職場におられる先生方が多いとは存じますが、医療現場は直接影響を受ける業界でございます。もしも、仕事や事業等に大きな痛手を受けた方、あるいは健康に異常を生じた方がおられましたら、お見舞いを申し上げますとともに、一日も早く皆様の生活が元に戻り、健康を回復されますようお祈り申し上げます。

リハビリテーション学部
リハビリテーション学科 学科長

大田尾 浩



西九州大学リハビリテーション学科は、2007(平成19)年4月に産声をあげ、今年で15年目を迎えました。2009(平成21)年には大学院修士課程が設置され、いまでは博士後期課程への進学も可能となりました。2021(令和3)年4月には、リハビリテーション学部15期生を迎え、1期生から数えると入学生が1,170名を超えました。

開設当時から脈々と受け継がれてきた当該学科の教育方針は、地域社会を念頭に置いた教育と研究を展開することです。しかし、西九州大学も例外なくコロナ禍の影響を受けました。一部リモートに切り替えながらも「西九州大学リハビリテーション学科の教育」を継続できたのは卒業生の支えがあったからです。無理なお願いにも関わらず、温かい言葉

で応え、支えてくれました。後輩育成にお力添えいただいた皆様には感謝の念に堪えません。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

同窓会の最たる使命は、後輩の支援と卒業生の親睦や資質向上の後援です。在校生ならびに卒業生の教育と研究に寄与すべく、私も微力ながら精一杯努力していく所存です。今後とも御指導・御鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

遊びに来ませんか？
卒業生の共同研究が進んでいます。



溝田勝彦先生 名誉教授称号授与式



2020年3月に定年退職し、4月からは特任教授として勤務していますが、6月に西九州大学名誉教授の称号を授与されました。これも学部学科教職員の皆様、学部卒業生の皆様のお力添えがあったからこそと感謝しております。

学部からはこれからも元気に大好きなビールを飲むようにと錫製タンブラーと豪華な花束をお祝いと

して頂きましたが、思いもかけず学部同窓会からも写真の品をお祝いとして頂きました。有田焼のコーヒードリッパーとペアのマグカップです。有田焼のコーヒードリッパーは紙フィルター不要で、とてもまろやかな味に仕上がります。ゆっくりくつろぎたい時に入れてコーヒーを満喫しています。卒業生の皆様に厚くお礼申し上げます。

卒後研修

年に1回、同窓会が主催となり、講師を呼んで研修会を開催しています。過去には著名な先生方を御招きし、講義をしていただいています。過去の講義内容と講義風景を掲載しています。

2011年	PT 肩関節疾患の理学療法 中山朗先生
2014年	OT リハビリテーションにおける目標設定 ADOCの紹介 友利幸之介先生
2015年	PT 股関節疾患の理学療法 加藤浩先生 OT 高次脳機能障害に対する評価 松尾崇史先生
2016年	PT 急性期・慢性期の呼吸リハビリテーション 高橋仁美先生
2017年	PT 慢性痛に対するリハビリテーションの科学的基礎 西上智彦先生 OT 高次脳機能障害に対する作業療法 種村留美先生

